

令和8年度 学校経営計画

1 学校教育目標

「行学一如」の伝統的精神を継承し、校訓「自主・協和・創造」のもと、自主的で協調性・創造性に満ちた人間の育成に努める。その達成のために、以下の3点を基本方針としている。

- ・責任と義務を自覚させ、良識ある判断力・強い意思力・実行力・忍耐力を育成する。
- ・品性の陶冶に努め、豊かな情操を培い、社会規範・秩序を守る精神を育成する。
- ・高い知性とすぐれた技術を身に付け、新時代に役立つ建設的・創造的態度の育成に努める。

2 学校の特徴

本校は、明治42年に富山県下新川郡立農業学校として創立して以来118年の歴史を有し、普通科、土木科、生活環境科の3学科で構成された総合制高校である。

普通科では、大多数の生徒が国公立大学を中心とした4年制大学への進学を目指していることから、学力の向上を図る教育課程を編成し、実施している。土木科では、体験的な学習や課題研究などを通して、土木に関する専門的な知識・技術を習得させ、将来中堅技術者として活躍できる人材を養成している。また、生活環境科では、専門教科「家庭」に関する科目において実験や実習を多く取り入れ、生活産業のスペシャリストとして活躍できる人材を養成している。土木科、生活環境科ともに、進学又は就職の希望進路を実現する教育課程を編成し、実施している。

学科の枠を超え、それぞれの特性・特徴の理解を図り、集団活動を通じた人格の陶冶を目指して、特別活動や部活動の指導、生活指導等にも力点をおき、全教職員の共通理解に基づく教育活動に取り組んでいる。

3 学校の現状と課題

素直で礼儀正しく、学習にも真面目に取り組むが、自主性、主体性にやや欠ける生徒が増えている中、将来に対する明確な展望と目標をもたせるとともに、自ら設定した目標の達成に向けて意欲的に学習に取り組む態度を養うことが求められている。また、国際友好都市を目指す地域の特性を生かし、広い視野をもった生徒の育成に努めている。

これらの観点から、本校では「自立を目指し、自ら学び考える態度や豊かな心を育み、生きる力を培うとともに、調和のとれた国際感覚の理解を深める」を学校課題として掲げ、教育諸活動を推進している。